

■日本銀行：経済・物価情勢の展望（2025年7月）

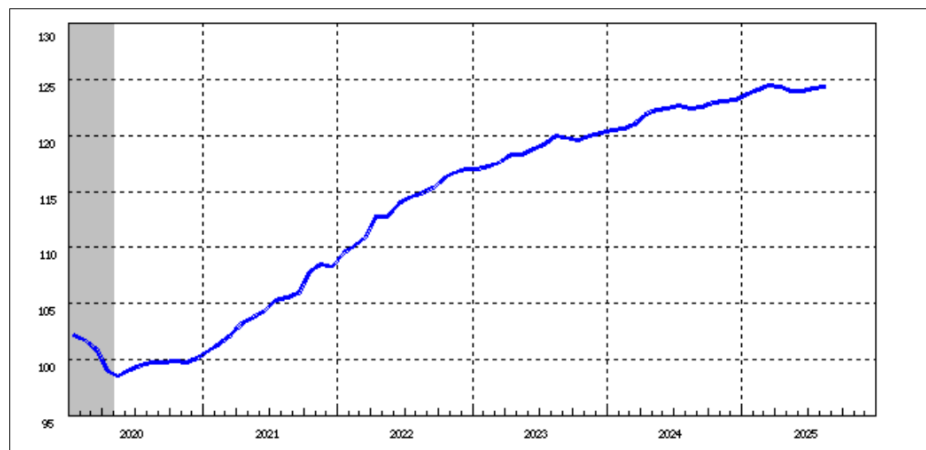
URL <https://www.boj.or.jp/mopo/outlook/gor2507b.pdf>

物価の先行きを展望すると、消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、2025年度に2%台後半となったあと、2026年度は1%台後半、2027年度は2%程度となると予想される。このところの米などの食料品価格上昇の影響は減衰していくと考えられる。この間、消費者物価の基調的な上昇率は、成長ペース鈍化などの影響を受けて伸び悩むものの、その後は、成長率が高まるもとで人手不足感が強まり、中長期的な予想物価上昇率が上昇していくことから、徐々に高まっていくと予想され、見通し期間後半には「物価安定の目標」と概ね整合的な水準で推移すると考えられる。

【図1】時系列統計データ 検索サイト：大類別/工業製品 ※出典：日本銀行

URL

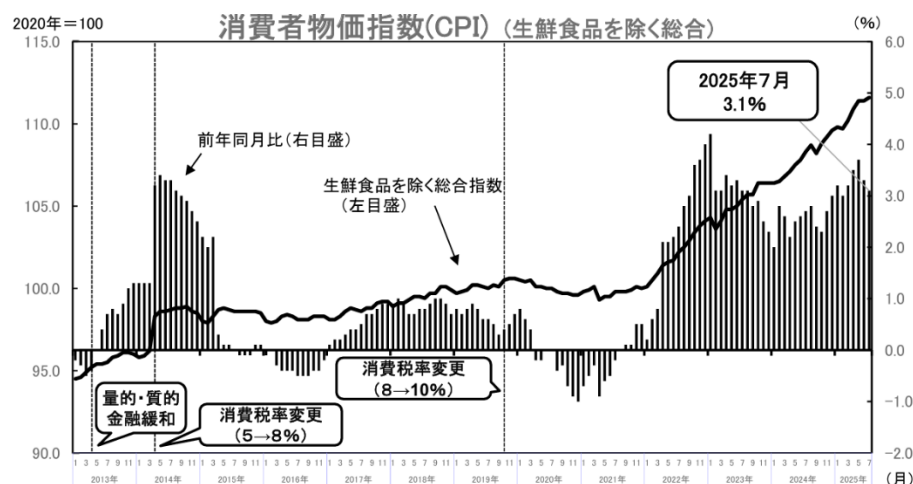
[https://www.stat-search.boj.or.jp/ssi/cgi-bin/famecgi2?cgi=\\$nme_a000&lstSelection=PR01](https://www.stat-search.boj.or.jp/ssi/cgi-bin/famecgi2?cgi=$nme_a000&lstSelection=PR01)



■総務省統計局：消費者物価指数（全国7月）

URL <https://www.stat.go.jp/data/cpi/sokuhou/tsuki/pdf/doukou.pdf>

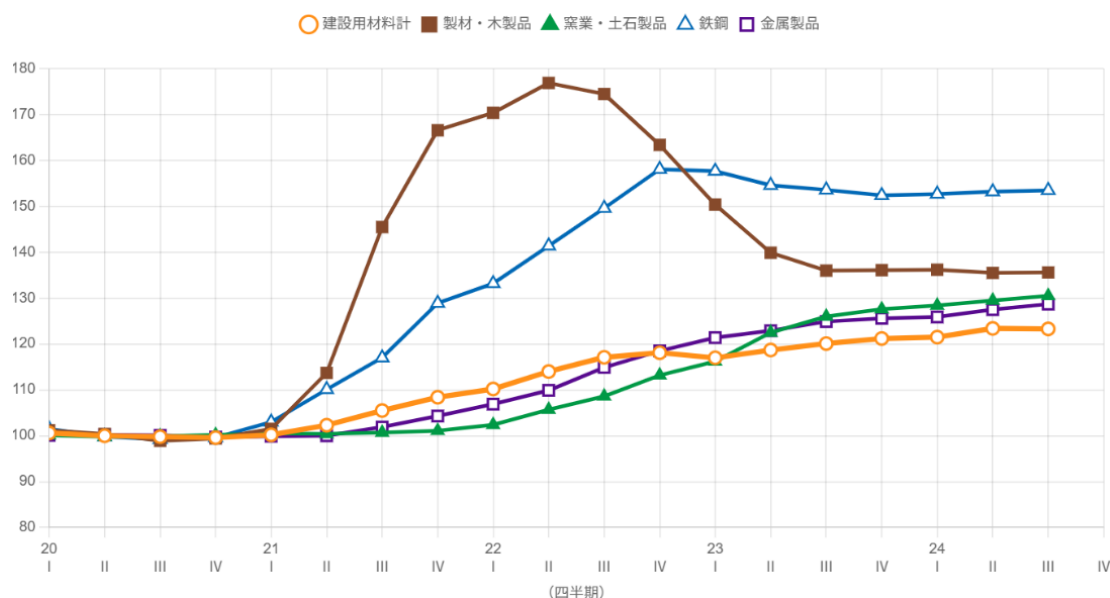
【図2】消費者物価指数の最近の動向 ※出典：総務省統計局



■（一社）日本建設業連合会

URL <https://www.nikkenren.com/publication/handbook/chart6-3/index.html>

〔図3〕建設資材価格（企業物価指数）の推移 ※出典：（一財）日本建設業連合会



■厚生労働省：令和6年賃金構造基本統計調査

URL

https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2024/xls/toukei_hyo.xlsx

〔図4〕一般労働者の所定内給与額及び対前年増減率の推移(昭和51年～)抜粋

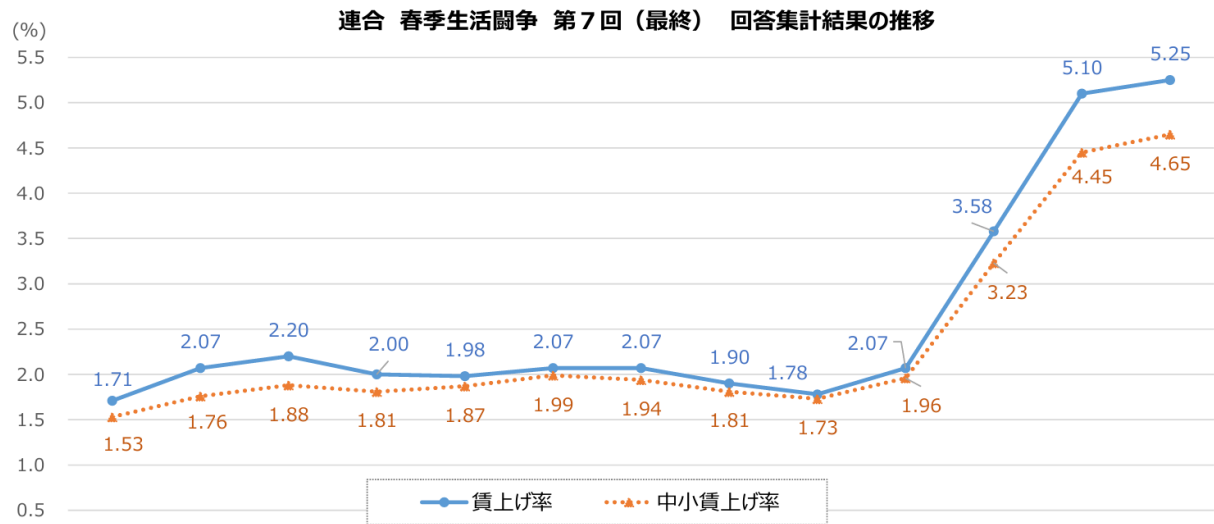
※出典：厚生労働省

年 ¹⁾²⁾	賃 金 (千円)	対前年増減率 ³⁾ (%)
平成 27 (2015)	304.0	1.5
28 (2016)	304.0	0.0
29 (2017)	304.3	0.1
30 (2018)	306.2	0.6
令和 元 (2019) 年	307.7	0.5
※令和 元 (2019) 年 ³⁾	306.0	...
2 ³⁾ (2020)	307.7	0.6
3 (2021)	307.4	-0.1
4 (2022)	311.8	1.4
5 (2023)	318.3	2.1
6 (2024)	330.2	3.7

■厚生労働省：連合 春季賃上げ妥結状況

[図5] 連合 春季賃上げ妥結状況 ※出典：厚生労働省

URL <https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/001539435.pdf>



■経済産業省：足下の価格交渉・転嫁の状況

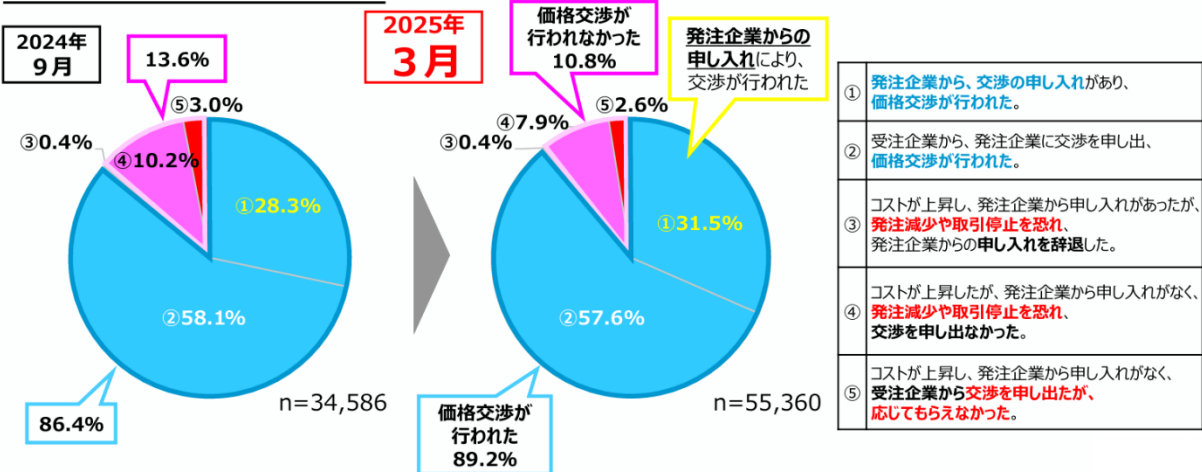
URL

<https://www.meti.go.jp/press/2025/06/20250620003/20250620003-1.pdf>

[図6] 価格交渉促進月間（2025年3月）フォローアップ調査の結果について

※出典：経済産業省

直近6か月間における価格交渉の状況

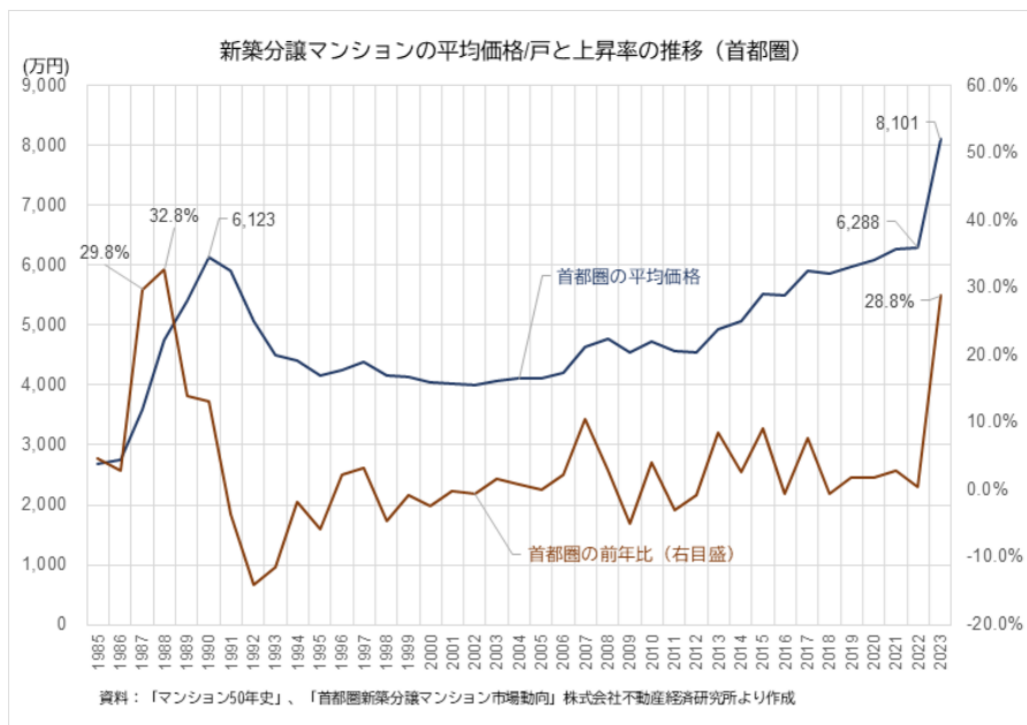


■経済産業省：高騰するマンション市場

URL

https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto_kako/20241212hitokoto.html

〔図7〕価格高騰の状況 ※出典：経済産業省



■最低賃金関連

〔図8〕最低賃金上昇の推移（全国平均）

